

## 「令和3年度茨城県青年・女性漁業者交流大会」が開催されました

令和3年12月23日（木）、「令和3年度茨城県青年・女性漁業者交流大会」がオンラインにより開催されました。

この大会は、青年・女性漁業者が集まり、日ごろの研究や実践活動の実績を発表し、浜を超えた交流と知識・技術の共有を図るとともに、活動の成果を普及し本県水産業の活性化と振興に寄与することを目的に隔年で開催され、昭和29年に第1回大会が開催された前身の「茨城県漁村青壮年女性活動実績発表大会」を含め通算47回目の大会となりました。今年度は4課題の発表が行われました。

### 1. 「霞ヶ浦のコイをもっと身近に！」（霞ヶ浦養殖加工部 発表者：山野英明さん）

需要が低下している養殖コイの課題を解決するため、コイの冷凍品の製造、PR活動をきっかけとして新たな組織が結成され、少量サイズ製品のラインナップ、インターネット販売など一般消費者をターゲットとした販売活動のほか、コイのミンチを使ったコイナゲットの開発と学校給食への提供など、コイの消費拡大に向けた活動の成果の発表が行われました。

### 2. 「那珂湊漁協女性部のこれまでの歩みとこれから」

（那珂湊漁協女性部 発表者：根本経子さん・根本香織さん・根本恵美さん）

加工場兼直販場の運営、エイのナゲットなど地魚の加工品・総菜の販売のほか、イベントへの参加やひたちなか市内の全小中学校へのつみれ汁の提供など、これまで取り組んできた幅広い魚食普及活動及び高齢の部員と新規加入した若い部員それぞれの今後の活動の場について発表が行われました。

### 3. 「鹿島灘はまぐりの維持・増大を目指して～大洗サンビーチにおける移殖放流活動～」

（大洗町漁業研究会 発表者：小沼達央さん）

サンビーチに発生した鹿島灘はまぐり稚貝の採捕と移植放流に取り組んでおり、標識放流貝の再捕記録から判った、放流適地の条件、放流適期、成長について発表が行われました。また、移植海域では他の海域ではみられない小型サイズが多く漁獲されることから、放流した貝が漁獲対象となっていることを実感しているとのことでした。

### 4. 「改良型アワビ種苗放流器実証試験結果について」（川尻採鮑 発表者：根本恵一郎さん）

現在使用している種苗放流器についての漁場設置後に種苗が放流器内に長期間留まり漁場に移動しないという課題を解決するため、水産試験場がアワビの光を嫌う性質を利用して開発した改良型放流器と従来型放流器を用いてアワビ放流試験を行ったところ、改良型放流器の方が早くアワビ種苗が放流器の外へ移動する結果が得られたという発表が行われました。

なお、活動発表終了後に漁業研究協議会員、漁協女性部連絡協議会員による投票が行われ、全国青年・女性漁業者交流大会への本県代表として、令和3年度大会には那珂湊漁協女性部、令和4年度大会には霞ヶ浦養殖加工部が推薦されることとなりました。

漁業関係者みなさんの活動が今後ますます盛んになり、多くの成果が得られるようになることをお祈りします。  
（経営普及室 渡邊直樹）

【次号予告】R4.2.4発行の水産の窓は「ヒラメの資源状況」を予定しています。